

4) 研究の課題設定と公募

厚生労働科学研究費補助金制度では、平成 20 年度には 14 の研究事業において、それぞれの研究事業ごとに、国民の健康、福祉、労働面の課題を解決する目的志向型の研究課題設定を行い、その上で、国内の試験研究機関等（国公立大学、国公立・民間研究機関等）に属する研究者、又は法人を対象として、原則として公募により研究課題を採択した。

5) 予算額及び採択件数の推移等

厚生労働科学研究費補助金予算額（推進事業費を含む）は、厚生労働省の科学技術関係予算のほぼ 3 分の 1 を占め、平成 20 年度予算は 428 億円、平成 14 年以降毎年 1,400 課題程度の研究を実施している。

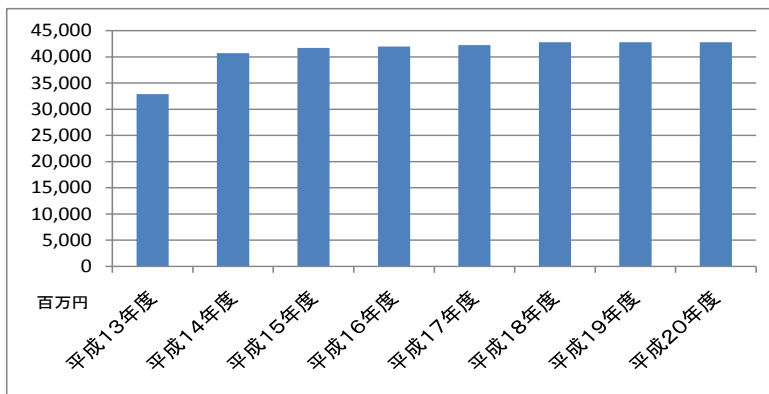


図 3 - 1 予算額の推移

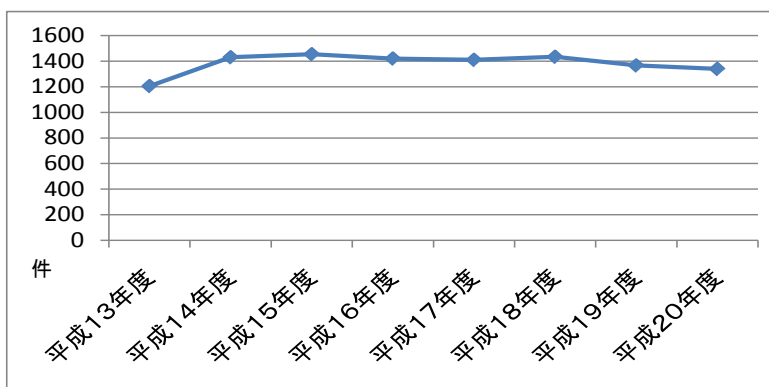


図 3 - 2 採択件数の推移

6) 各研究事業の予算額に占める構成割合

厚生労働科学研究の予算額 428 億円（推進事業費を含む）における各研究事業の占める割合は図4のとおりである。

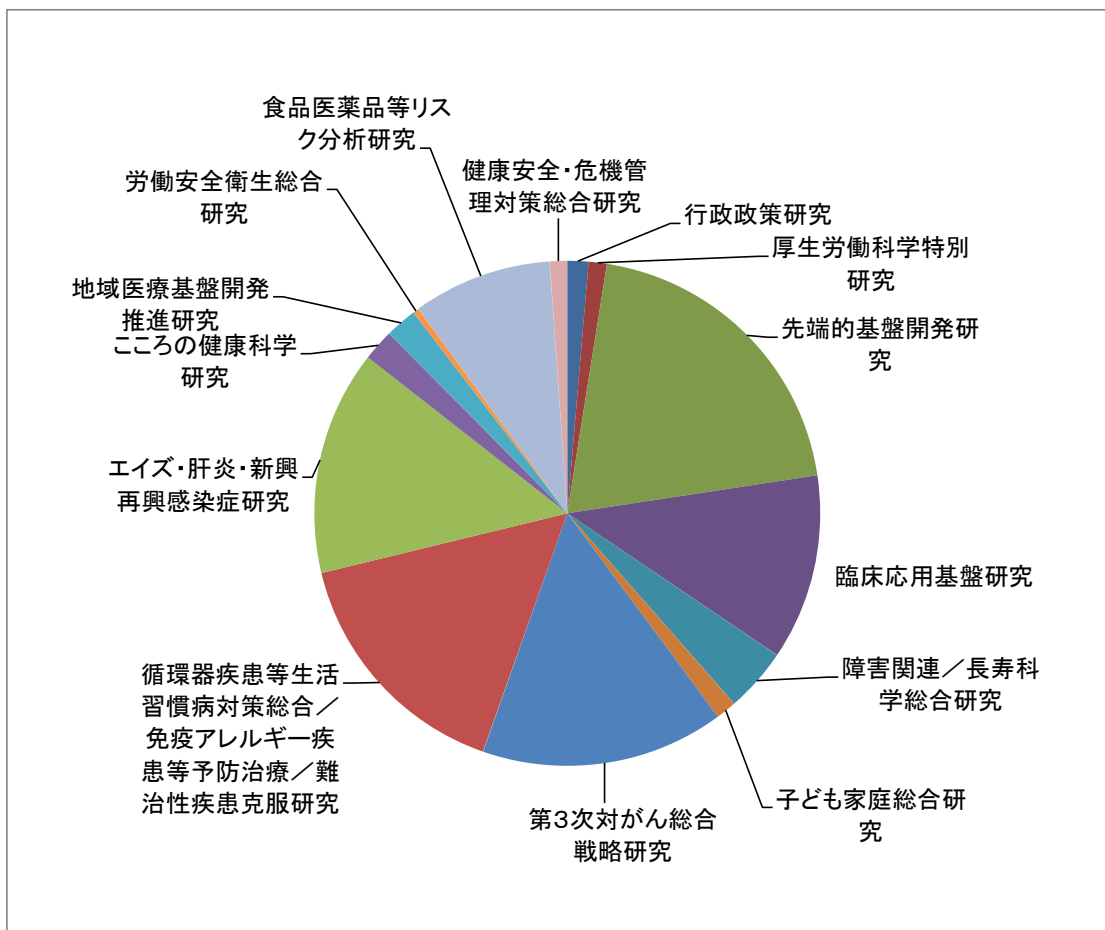


図4 各研究事業ごとの当初予算額の割合（平成20年度）

7) 研究費金額階層毎の研究費予算全体に占める割合、採択数等

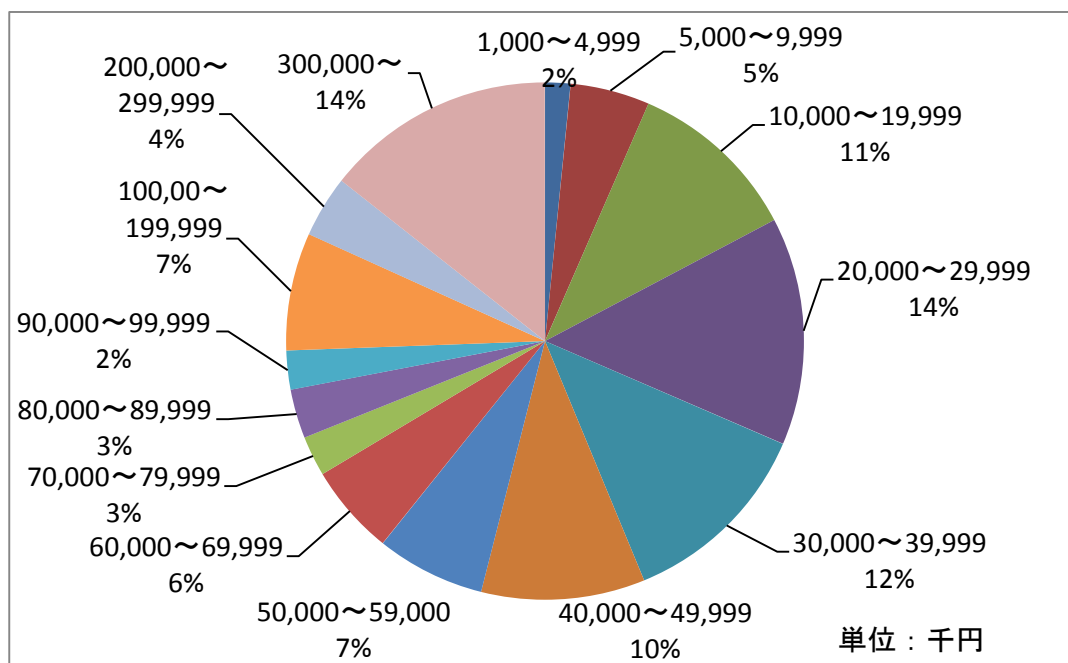


図5 各金額階層の研究費全体に占める割合（金額ベース）

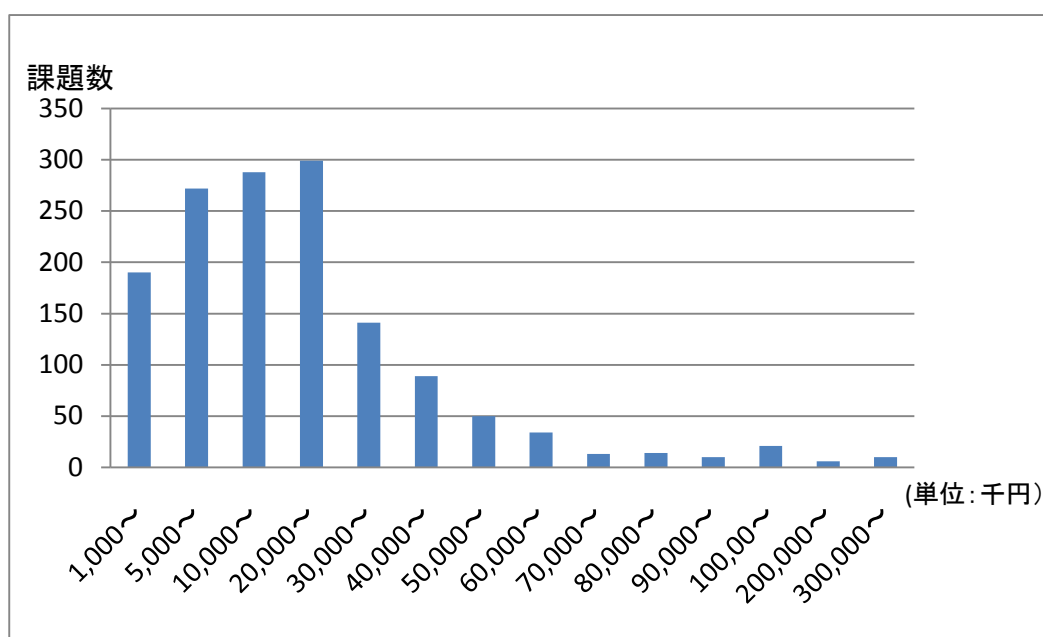


図6 研究費額階層毎の20年度採択課題数

注：図5，図6ともに直接研究費を集計

予算に占める割合は、10,000千円から30,000千円台が1/3以上を占め(図5)、20,000千円台の課題の採択数が最も多い(図6)。